

令和 2 年 6 月 23 日

普通期 稲作情報 第1号

J A む な か た
北筑前普及指導センター

今年度の田植えは 6 月 10 日頃から始まっており、順調に田植え作業が進んでいます。
今後は以下の管理作業を行ってください。

1. 水 管 理

稲の活着後は間断かん水とします。分けつが株当たり20本程度確保できたら(6月上旬植えの早植田では田植え後約30日、6月20日植えの普通期では田植え後約25日)中干しを行ってください。

- 中干しの効果**
- ① 土壌のガス抜きと酸素の供給により根の活性が増し、根腐れを防止します。
 - ② 窒素吸収を抑制し、無効分けつを抑えます。
 - ③ 根の生育が旺盛になり、倒伏が軽減されます。
 - ④ 土壌が固まるため、収穫直前まで入水でき、籾の充実向上につながります。

中干し前に溝切りを行うと、水管理がスムーズに行えます。	
中干し開始の目安	1 株当たり18～20本程度 (田植え後25～30日程度)
中干しの期間	7日程度行います
中干しの程度	田面に小さな亀裂(小指くらい)が入る程度 生育不足の場合や水持ちの悪い田では、軽めに干しましょう 生育過剰の場合や排水不良の田では、強めに干しましょう
中干し終了後	急に溜め水をすると根を傷めるので、間断かん水か飽水(ひたひた水)管理をしてください

2. 病 害 虫 防 除

★海外飛来性害虫

本年は梅雨前線がかかった 6 月 11 日にセジロウンカ(夏ウンカ)及びトビイロウンカ(秋ウンカ)が確認されています。平年より 3 週間程早く確認されているため、今後の発生に注意してください。

★病害

○紋枯病については、高温条件で発生しやすいため、昨年、発生したほ場では「オリブライ 250G 出穂 10 日前まで(但し、収穫 45 日前まで)」による防除を行ってください。

○いもち病の発生しやすいほ場は(昨年多発生したほ場、冷や水が入るほ場、日陰の多いほ場、野菜跡などの窒素が効いて軟弱な生育のほ場等)発生に注意しましょう。
右記の表を参考にして下さい。

<補正防除剤>

	薬剤名	散布量 (10a 当たり)	散布時期	使用上の注意
いもち病	コラトップ豆つぶ	250g	・葉いもち 初発 10 日前～初発時 ・穂いもち 出穂 30 日前～5 日前まで	・夢つくし ・つくしろまん ・元気つくし は、いもち病に弱い ので、葉いもちを発 見しだい、早急に防 除を行いましょう。
	ノンプラスフロアブル	1000倍	発生初期 (収穫7日前まで)	
	ビーム粉剤 DL	3～4kg	発生初期 (収穫7日前まで)	

3. 除草対策

雑草が残っているほ場では、草種に合わせて下記の薬剤を散布してください。

対象雑草	薬剤名	10a 当たりの 使用薬量	10a 当たりの 希釈数量	使用時期
ノビエ アゼガヤ キシユウスズメノヒエ	クリンチャー 1キロ粒剤	1kg	湛水散布	移植後7日～ ノビエ4葉期 (収穫30日前まで)
		1.5kg		移植後25日～ ノビエ5葉期 (収穫30日前まで)
	クリンチャーEW	100ml (展着剤加用)	100ℓ 湛水または 落水散布	移植後20日～ ノビエ6葉期まで (収穫30日前まで)
ノビエ	トドメMF乳剤	200ml	100ℓ 湛水または 落水散布	移植後14日～ ノビエ7葉期 (収穫50日前まで)
広葉 ホタルイ、カヤツリグサ等	バサグラン (Na)液剤	500～700ml	70～100ℓ 落水散布	移植後15日～55日 (収穫50日前まで)
ノビエ 広葉 カヤツリグサ	クリンチャーバス ME 液剤	1000ml	70～100ℓ 落水散布	移植後15日～ ノビエ5葉期まで (収穫50日前まで)
	アクシズMX 1キロ粒剤	1kg	湛水散布	移植後7日～ ノビエ4.0葉期 (収穫前45日前まで)

※早めの雑草対策を心掛けましょう！